

令和4年度大木中学校区・合同学校運営協議会の記録概要

(第4回大木中学校・学校運営協議会)

1 開催日時：令和4年11月22日（火）16時00分～17時00分

2 会場：大木中学校・多目的室

3 出席者（若松小学校の委員）

西城彰男 首藤可奈子 田中通 儀賀博實 垣内茂夫 西城薫
万代圭子 紺谷隆 児島功 原田吉次 樋口比呂磨 池田道彦

4 連絡・報告事項

(1) 大木中学校新校舎建設進捗及び今後の計画についての説明

・教育政策課（澤田GL、中野）から別添資料「大木中学校校舎増改築事業について」に沿って説明。



(2) 大木中学校・新制服についての説明

・校長から別添資料「令和5年度より、大木中学校では制服が新たにブレザースタイルに変わります」を基に説明。

・LGBTQにかかる生徒にも配慮したもので、男女ともにズボンやスカートが選べる。ネクタイやリボンについて購入を含め選択でき、着脱についても選択できる。

・ブレザーのボタンは、生徒デザインにより作成されたものである。

5 協議事項

テーマ「新校舎図書館の地域利用について」

配付資料 ① 新校舎設計図

② 学校通信（10）：第3回大木中・学校運営協議会の記録

※ A～Eの5つのグループに分かれて協議を実施した。

【意見や質問等】

- ・防犯上の問題が無いのか。
- ・年長などの幼い子どもの利用は可能なのか。どんな種類の本があるのか。
- ・中学生による図書館の運用の仕方を考えてはどうか。
- ・蔵書の特徴や内容が分かるようにしてほしい。

- ・利用時間はどのようにするのか。
- ・市の図書館から本の取り寄せは可能なのか。
- ・鍵の管理について考える必要がある。
- ・防犯上のことから、利用時間は中学生の使用しない時間帯が好ましい。
- ・休日の利用に関しては、会議室を含め図書館の鍵の管理方法（輪番での管理など）を決める必要がある。
- ・学校図書館を運用しているところを参考にする。
- ・地域に開かれた図書館、読書活動の推進、子どもだけでなく親や地域大人も親しめる施設にしたい。
- ・開放委員会やルール作りが必要である。
鍵の管理、予約貸し出し方法、団体や個人への対応、管理者（司書）の常駐経費（PTA, まちづくり等）
- ・授業日の利用は可能か。土日に限定すると時間帯はどうするのか。
- ・幼い子どもの利用できる図書の選定も考えてほしい。
- ・利用開始当初は試行期間を設定するなど、日時限定で行えばどうか。
- ・開放には常駐のスタッフ（ボランティア）が必要である。
- ・小学生のたまり場にならないか。地域のサロンになる可能性もある。
- ・勉強もできるようにするのか。長時間の滞在はどうか。
- ・貸し出しカードの作成が必要である。
- ・図書館のルール作りが重要である。まずは、中学生の利用について、落ち着いたら飲食は禁止など、地域のルールを決めていく。
- ・事前の使用許可（1年～6カ月）が必要である。
- ・市の文化振興部が中心となって開放委員会を作れないか。
- ・担当は、長太、箕田、若松の輪番で考えてはどうか。
- ・地域の方かどうかの確認はどうするのか。
- ・はじめは土日の利用とし、次に長期休業期間、そして放課後と段階的に進めることが良いのではないか。
- ・会議室の利用は、若松方式が良いと思う。
- ・取りまとめが必要である。大木中の学校運営協議会が中心となってはどうか。